

照合実績収集ツール

【誤品照合】

操作説明書

Ver. 1.0



このマニュアルで説明するソフトウェアは、使用許諾契約に基づいて提供され、その内容に同意する 場合にのみ使用することができます。

著作権

Copyright (c) AP-REFINE Inc. All Rights Reserved. このマニュアルの一部または全部を許可なく複製、複写、転載することを禁止します。

商標

Microsoft および Windows は、米国マイクロソフト社の米国および その他の国における登録商標です。 Android は、Google LLC の商標または登録商標です。

その他、記載されている会社名、製品名は各社の商標、または登録商標です。

はじめに

この度は『照合実績収集ツール(誤品照合)』(以下「照合実績収集ツール」と表記)を 採用頂きましてありがとうございます。

照合実績収集ツールは、複数種類の媒体を照合キーで紐付けて照合を行い、結果をファイルへ出 力します。

製品の仕様は、将来予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

製品の内容には万全を期しておりますが、万一ご不審な点、誤り、記載漏れなどお気付きの点があ りましたら、お手数ですが当社までご連絡ください。

目次

はじめに	1
目次	2
1. 機能概要	3
2. インストール	3
3. ツールの起動	3
3. 1. ショートカットアイコンからの起動	3
3. 2. 初期画面	1
3.3 ツールの終了	5
4. 読み取り媒体の設定	3
4.1. 各項目の概要	3
4.2. 各項目の内容・設定方法	7
4.2.1 第1媒体の項目設定	3
4.2.2 第2媒体の項目設定)
4.2.3 集約カードの項目設定 1	1
5. システム設定	3
6. マスタ照合設定	3
7. 操作方法)
8. AP-0811/AP-0812(ウェアラブル読取端末)表示一覧2 [.]	1
9. キャンセル、エラー時の操作方法22	2

3 |

1. 機能概要

本ツールは、ウェアラブル端末で複数種類の媒体のシンボルまたは RFID を読み取り照合し、 照合した結果と読み取った媒体のデータを実績ファイルへ出力します。

(1) 主な機能

- ◆読み取り
- ・一対一、一対二の媒体を照合
- ・照合結果、読み取りデータをファイルに出力
- ◆ウェアラブル端末状態チェック
- ・接続エラーを監視
- ・ウェアラブル端末のバッテリーを監視
- (2)対応機器
- ◆AP-0811、AP-0812
 - 新製品のリリースにより、対応機種を変更する場合があります。
- (3)ハードウェア環境OS 推奨環境Windows 10 以上 Android:10 以上

2. インストール

- Windows 版・・・TPS ツール BOX にインストール後、読み取り媒体の解析情報は設定済の状態で 出荷します。
- Android 版・・・Google Play ストアからダウンロードしてください。 「誤品照合」「誤出荷防止」で検索できます。

3. ツールの起動

3.1.ショートカットアイコンからの起動

デスクトップ上にある照合実績収集ツールのアイコンを ダブルタップしてプログラムを起動します。



3. 2. 初期画面

「解析情報」が未登録の場合は、 起動後 info ダイアログが表示されます。

info	
解析情報設定ファイルがない	ルためメイン画面に移動します。
	OK
	UK

TOP メニュー画面に移動しますので、左下に赤く表示されている「解析情報」を登録してください。



タップして登録画面を開く

登録手順は 次項以降の"4. 読み取り媒体の設定"を参照してください。 「解析情報」が登録されている場合は読取画面が表示されます。

▼「解析情報」が登録済みの場合

「AP-0811」デバイスに接続できませ	th			
モード:集約カード・第1媒体	次に読む媒体:集	「約カード		
処理結果:	照合キー:			
媒体照会状況:				
照合キ-	必要読取枚数	第1媒体照合枚数	第2媒体照合枚数	

5 |

3.3 ツールの終了

TOTAL&TPS トップメニューの[終了] ボタンをタップしてツールを終了します。



4. 読み取り媒体の設定

OTAL&TPS-Po7X=x-				- 0 X
1	照	合実績収集ツー	-ル	
	開始		終了	
¢	解析情報	システム設定	マスタ照合	Q 1.004

本ツールは、「解析情報」画面で読み取りデータの照合設定をします。

【解析情報 初期画面】

TOTALATPS-無析情報設定 - □ 第1媒体 第2媒体 集約カード エラー解除媒体 (1) (2) (3) (4) ▲ a (5) (6) 削除 7) セパレートコード: GS (8) テンプレート設定 共通EDI現品票 (9)					
設定タイプ キー追加 キー削除	区切位置	開始位置	文字数	判別文字	
2)媒体判别(10)(11)		0	0		
3)種別判別	9К	0	2	20	
1)照合キー	20P	0	4		
追加 (15)					

4.1. 各項目の概要

(1)	第1媒体	・・・1 種類目の媒体の読み取り情報を設定します。
(2)	第2媒体	・・・2 種類目(媒体1と照合)の媒体の読み取り情報を設定します。
(3)	集約カード	・・・集約媒体の読み取り情報を設定します(最大 10 点一葉)。
(4)	エラー解除媒体	・・・エラー解除用の媒体読取設定をします。
		※エラー時に処理を中断する場合の設定は(P.13)をご覧ください。
(5)	設定名	・・・任意の名称を登録します。

- (6) 削除・・・設定を削除します。
- (7) セパレートコード ・・・データ区切りコードを選択します。
- (8) テンプレート設定 ・・・ (9) で選択したテンプレートを設定します。
- (9) テンプレート選択(リスト表示)・・・リスト内のテンプレートから使用するものを選択します。

7 |

(10)	キー追加	・・・照合キーを追加します。
		追加したキーは「照合キーX」と表示します。※Xには1~の数子が入りま す。
(11)	キー削除	・・・照合キーを削除します。Xの値が大きいものから順に削除します。
(12)	媒体判別	・・・読み取る媒体の判別を設定します
		EX)e-かんばん、JAMA現品票など
(13)	種別判別	・・・読み取る媒体の種類判別を設定します
		EX)指示書、現品票など
(14)	照合キー	・・・読取データ内の照合キーの位置を設定します
(15)	追加	・・・設定を追加します
(16)	受信データ	・・・(17)で接続した読取装置で読み取ったデータを表示します
(17)	デバイス接	続 ・・・読取装置を接続します
※設定	と確認 実	際に読取装置で媒体を読み取り、設定内容を確認することができます。 2)(13)(14)条行の項目名クリックすることで、該当行に色が付き(薄赤色)読み取り
	(1	ータ内の設定した部分を赤字で表示します
L		

(18)	キャンセル	•	•	•	設定をキャ	ンセル	します
------	-------	---	---	---	-------	-----	-----

 (19)
 登録
 ・・・設定を登録します

4.2. 各項目の内容・設定方法

(7)セパレートコード ・・・リスト表示しますリスト内からデータ区切りコードを選択します「NONE」は区切りを見ない設定です

(9) テンプレート選択 ・・・リスト表示します
 リスト内からテンプレートを選択します
 選択後、左の テンプレート設定 ボタンで確定します

- ※テンプレート→ 設定値をあらかじめ登録したものです テンプレート1:共通 EDI 現品票設定 テンプレート2:JAMA 現品票設定 テンプレート3:TPS Gカード設定 (集約カードのテンプレートは TPS Sカードのみ)
- (17) デバイス接続
 ・・・読取媒体の設定後、設定確認のために使用します。
 タップして読取装置を接続します。
 ※1 あらかじめPC側でBluetoothのペアリング設定をしてください。
 - ※2 システム設定 (P.12) の「(5)Bluetoothデバイスを選択」で読み取り装置を 設定してください
- ※設定確認 ・・・(16)受信データに(17)で接続した読取装置で読み取ったデータが表示されます。

設定内容を確認するため、(12)(13)(14)各行の項目名をクリックすると 確認したい項目行に色(薄赤色)がつき、読み取りデータ内の設定した部分を赤字 で表示します(下図参照※android版画面)

15:05 ₽ ♀ ↔	本 集約力·	ード エラー	解除媒体	P: + 🖘 🖬
セパレートコード: GS	テンプレート設定	共通EDI現品票		
設定タイプキー追加キー削除	区切位置	開始位置	文字数	判別文字
媒体判別		0	0	
種別判別	9К	0	2	20
照合キー	20P	0	4	
受任ニーク(TAP-U811」 アハイ・ハウ 16 6V983251020 14V1 20L 2L4 V285041000 0 9K20 5 16D2021 20P1475 P22510-36020-00 Q50	00242±1,72) 620010050 11,B7 0925 9D01 101,A000 0 2P0 17K1 2419	1092501 1	キャンセル	登録

4.2.1 第1媒体の項目設定

(12)、(13)、(14)については下図の数値を例として説明します

▲ 設定名					削除
セパレートコード: #	~ テンプレー	ト設定 共通EDI現品票 ~			
設定タイプ キー追加 キー削除	(10)	区切位置	開始位置	文字数	判別文字
媒体判別	(12)	1	0	0	06
種別判別	(13)	9К	0	2	20
照合キー	(14)	20P	0	4	

(12) 媒体判別

- :区切り位置「1」
 - 1番目の区切り位置(セパレートコードが#の設定の場合は、最初の#)の 前の数字を見る
 - EX) 「0」の場合・・読み取りデータの先頭から参照する 空欄の場合・・・媒体を特定しない(何を読んでもいい)
- :開始位置「0」

読み取りデータの先頭から参照する

EX)「11」の場合・・・12 桁目から参照する ※1 桁目が開始位置「0」となる

:文字数「0」

すべてのデータ(最後まで)を参照する

EX)「1」の場合1桁を参照、「10」の場合10桁を参照

- (13) 種別判別
 - : 区切り位置「9K」 読み取りデータ 9K の後を参照
 - :開始位置「0」 読み取りデータの先頭から参照する
 - : 文字数「2」 2 桁を参照
 - :判別文字「20」 参照したデータが 20 だった場合
- (14) 照合キー
 - : 区切り位置「20P」 読み取りデータ 20P の後を参照
 - :開始位置「0」 読み取りデータの先頭から参照する
 - : 文字数「4」 4 桁を参照→これを照合キーとする

【設定内容】

読み取り媒体のデータの1番目の区切りコード(ここでは#)の前のデータを先頭から最後までを参照し、06でありかつ9Kの後の2桁が20である場合、20Pの後の4桁を照合キーとする

4. 2. 2 第2媒体の項目設定

(12)、(13)、(14)については下図の数値を例として説明します

L u				削除
セパレートコード: NULL - テンプレー	ト設定 共通EDI現品票 ~			
設定タイプ キー追加 キー削除	区切位置	開始位置	文字数	判別文字
媒体判別 (12)		0	3	123
種別判別 (13)	1	4	1	G
照合キー (14)	1	5	4	

(12) 媒体判別

: 区切り位置「空白」

区切りを判別しない

:開始位置「0」 読み取りデータの先頭から参照する

:文字数「3」

3桁を参照する

- :判別文字「123」 参照したデータが 123 だった場合
- (13) 種別判別
 - : 区切り位置「1」
 - 1つめの区切り部分を参照
 - :開始位置「4」

読み取りデータの5桁目から参照する ※1桁目が開始位置「0」となる

【参考】

開始位置はマイナス値の設定が可能です 「-8」とした場合は、最後から8番目のデータを参照します

: 文字数「1」

1桁を参照 ※「0」の場合はすべてを参照

:判別文字「G」 参照したデータがGだった場合

(14)照合キー

- : 区切り位置「1」 1つめの区切り部分を参照
- :開始位置「5」 読み取りデータの6桁目から参照する ※1桁目が開始位置「0」となる
- :文字数「4」

4桁を参照し、照合キーとする

【設定内容】

読み取り媒体2のデータの先頭から最後までを参照し、最初の3桁が123で、5桁目から始めて1番目のデータがGだった場合、1つめ区切り部分の6桁目からの4桁が照合キーである。

4. 2. 3 集約カードの項目設定

■テンプレート設定:TPS Sカード

(12)~(21) については下図の数値を例として説明します

パレート	トコード: NONE 〜 明細区	切り: NONE ~ テンプレ	ート設定 TPSSカード ~			
	設定タイプ	区切り位置	開始位置	文	字数	判別文字
某体判別	(12)	1	4	1	Т	
重別判別	(13)	1	4	1	т	
D番号	(14)	1	0	12		
PBANK S	אינארד האברד (אואר) אינארד אולארד אווי) אינה	中 医切り 一照合于 開始	位置	数量医切り	数量用均	数量文字数
DØD	明細(116)(17)	40	4		44	4
	明細行2	48	4		52	4
	明細行3	56	4		60	4
	明細行4	64	4		68	4
	明細行5	72	4		76	4

- (12) 媒体判別
 - :区切り位置「1」

1つめの区切り部分を参照

:開始位置「4」

読み取りデータの5桁目から参照する ※1桁目が開始位置「0」となる 【参考】

開始位置はマイナス値の設定が可能です

「-7」とした場合は、最後から7番目のデータを参照します

: 文字数「1」

1 桁を参照

:判別文字「T」

参照したデータが T だった場合

- (13) 種別判別
 - :区切り位置「1」
 - 1つめの区切り部分を参照
 - :開始位置「4」 読み取りデータの5桁目から参照する ※1桁目が開始位置「0」となる

: 文字数「1」

:判別文字「T」
 参照したデータがTだった場合

- (14) ID 番号
 - : 区切り位置「1」 1つめの区切り部分を参照
 - :開始位置「0」 読み取りデータの先頭から参照する
 - : 文字数「12」 12 桁を参照→これが ID 番号
- (15) 明細行1
 - : 区切り位置「1」 1つめの区切り部分を参照
 - :照合キー開始位置「40」 読み取りデータの 41 桁目から参照する
 - :照合キー文字数「4」 4桁を参照→これが照合キー
 - : 数量開始「44」 読み取りデータの 45 桁目から参照する
 - : 数量文字数「4」 4 桁を参照→これが数量

【設定内容】

1 つめの区切り部分を参照し、5 桁目から始めて1 番目のデータが T である場合の ID 番号 は、1 からの 12 桁である。

1つめの区切り部分を参照し、41桁目からの4桁の照合キーと、45桁目からの4桁の数量 を、第1媒体/第2媒体との照合用データとする。

- (16)行追加
 ・・・1点1葉の指示書の場合は、照合用データ1のみの設定ですが、
 多点1葉の場合は、行を追加して設定します。
 1回のタップで1行増えます。最大10行迄登録可能です。
- (17) 行削除 ・・・タップして行を削除します。 削除したい行の左のチェックボタンを ON にして、行削除をタップします。
- (18) 追加 ・・・設定媒体を追加します。
- (19) デバイス接続・・・・読取装置を接続して設定内容を確認します。



■テンプレート設定: EDI 受注伝票

A	設定名		_							削除
セパレ	/ートコード:	GS	~ 明細	区切り:	RS ∽ 7	ンプレート設定 EDI	受注伝票 ~			
	設定 (10)	ミタイプ			区切り位置	開始位置		文字数		判別文字
媒体	判別(IΖ)			1		0	3		[)>	
種別	判別 (13)			9K		0	2		B0	
ID番号	릉 (14)			10K		0	5			
明細	区切り(RS)行追	加行削除	照合キー区	区切り	照合キー開始位置	照合キー文字数	数量区切り	数	量開始	数量文字数
) 🗆	明細布16	i) ₂ (17)	20P		0	0	4Q/Q	0		0
	明細行2	3	20P		0	0	4Q/Q	0		0
	明細行3	4	20P		0	0	4Q/Q	0		0
	明細行4	5	20P		0	0	4Q/Q	0		0
	明細行5	6	20P		0	0	4Q/Q	0		0
	明細行6	7	20P		0	0	4Q/Q	0		0
	明細行7	8	20P		0	0	4Q/Q	0		0
	明細行8	9	20P		0	0	4Q/Q	0		0
	明細行9	10	20P		0	0	4Q/Q	0		0
	日日冬田公元10	11	20P		0	0	4Q/Q	0		0

- (12) 媒体判別
 - :区切り位置「1」

1つめの区切り部分を参照

- :開始位置「0」 読み取りデータの先頭から参照する
- : 文字数「3」 3 桁を参照
- :判別文字「[)>」 参照したデータが[)>だった場合
- (13) 種別判別 : 区切り位置「9K」

読み取りデータ 9K の後を参照

- :開始位置「0」 読み取りデータの先頭から参照する
- :文字数「2」 2 桁を参照
- : 判別文字「B0」 参照したデータが B0 だった場合
- (14) ID 番号
 - : 区切り位置「10K」 読み取りデータ 10K の後を参照
 - :開始位置「0」 読み取りデータの先頭から参照する
 - : 文字数「5」 5 桁を参照→これが ID 番号
- (15) 明細行1
 - :照合キー区切り「20P」 読み取りデータ 20P の後を参照
 - :照合キー開始位置「0」 読み取りデータの先頭から参照する
 - :照合キー文字数「0」 すべてのデータ(最後まで)を参照する
 - :数量区切り「4Q/Q」 4Q÷Qの値を取る
 - : 数量開始「0」 読み取りデータの先頭から参照する
 - : 数量文字数「0」 すべてのデータ(最後まで)を参照する
- (16)行追加
 ・・・1点1葉の指示書の場合は、照合用データ1のみの設定ですが、
 多点1葉の場合は、行を追加して設定します。
 1回のタップで1行増えます。最大10行迄登録可能です。
- (17) 行削除
 ・・・タップして行を削除します。
 削除したい行の左のチェックボタンを ON にして、行削除をタップします。
 Copyright (c) AP-REFINE Inc. All Rights Reserved.

15 |

(18)追加	・・・設定媒体を追加します。
(19) デバイス接続	・・・読取装置を接続して設定内容を確認します。 P7 4.2 各項目の内容・設定方法 (17) デバイス接続を参照ください。
(20) キャンセル	・・・設定をキャンセルします

 (21) 登録
 ・・・設定を登録します

5. システム設定

本ツールはシステム設定画面で動作環境設定を行います。



【設定画面】

TOTAL&TPS-5/27/LIB/2	- 0 X
) 実績データ出力: C:\Users\kosak\Documents\TOTAL_TPS\users\achievementsData	
 ・	
ゆびたん用 B RFID読取開始ブロック: 0 (4)RFID読取ブロック数: 30	
)) Bluetoothデバイスを選択 AP-0811 、 接続確認 未接続	
読取モードを選択 (集約カード・第1媒体 ~	
) エラ−解除媒体の使用: ● オフ	
(11)	(9) (10) (ませいない) (登録)
設定ファイルのインポート	キャンビル

【各項目の内容】

(1) 実績データ出力・・・読取データおよび照合結果の出力先を設定します 出力ファイル形式は CSV です ※Android 版の出力先は固定となります

- (2) 略称・・・各媒体の略語を設定します。使用可能文字は半角英数2文字です。 ウェアラブル端末の表示用として使用します。
- (3) RFID 読取開始ブロック・・・RFID 読取開始ブロックを設定します。デフォルト値は0です。

- (4) RFID 読取ブロック数・・・RFID 読取ブロック数を設定します。デフォルト値は 30 です。※値が少ないほど読取速度は速くなります
- (5) Bluetooth デバイスを選択・・・Windows、Androidの「設定」で Bluetooth でペアリングされた機器がリスト表示されます。使用する機器を選択してください。
 ※AP-0811の PIN は「1234」です
- (6) 接続確認・・・(5) で選択した端末の接続テストをします。
 接続が成功した場合 「XXXX(端末型番)」デバイスが確認できました と表示されます。
- (7) 読取モードを選択・・・「集約カード・第1媒体・第2媒体」/「集約カード・第1媒体」/ 「第1媒体・第2媒体」の選択が可能です
- (8) エラー解除の使用・・・エラー解除媒体を読み取って解除する場合はオンにしてください。 ※エラー解除媒体の設定は「解析情報設定」で行います。
- (9) キャンセル・・・設定内容をキャンセルします
- (10) 登録 ・・・設定内容を保存します
- (11) <u>設定ファイルのインポート</u>・・・Android 版のみの機能です。PC 等で設定した内容を指定 のフォルダに入れ、インポートすることが可能です。

17

6. マスタ照合設定



第1媒体の照合キーと第2媒体の照合キーの紐づけを設定します

【設定画面】

OTAL&TPS-マス外報合設定	(6)		(7)	-	o x
	第1媒体照合キー		第2媒体照合キー		
123		466			
121		477			
(1) (2)					
	a + 1080			$\langle \mathbf{n} \rangle$	(\mathbf{A})
チェックしたも	りを削除			(3)	(4)
					-
				キャンセル	登録

- (1) 追加
- (2) チェックしたものを削除
- (3) キャンセル
- (4) 登録
- (5) チェックボックス
- (6) 第1媒体照合キー
- (7) 第2媒体照合キー

- ・・・登録するマスタを追加します
- ・・・チェックボックスで選んだマスタを削除します
 - ・・登録をキャンセルします
 - ・・マスタデータを保存します
- ・・・削除するマスタを選択します
- ・・・紐づけ対象の照合キー(品番など)を入力します
- ・・・「第1媒体」と紐づけ対象の照合キー(背番号など)を入力します

19

7. 操作方法

各種設定後、照合処理を行います。

ツールのアイコンをダブルタップして起動します。

- ① 読取装置の電源を入れます。
- ② トップメニューの「開始」をタップします。※システム設定済みの場合は③を表示します。

тотицатия-н-7Х		1	0	×
照合	ま績収集ツ−ル			
開始	終了			
デビックする 解析情報	システム設定 マスタ照合			

③ デバイス接続画面が開き、自動的にウェアラブル端末を接続します。

接続に成功した場合、下図(1)に"「XXXX(端末型番)」デバイスが接続されました"と表示します。

接続ができなかった場合は、"「XXXX(端末型番)」デバイスに接続できません"と表示します。 接続ができない場合は、7.キャンセル、エラー時の操作方法を参照してください。

ſ	TOTAL&TPS-デバイス接続				-	0	×
(1)) 「AP-0811」デバイスに接続できません						
(2)	, - モ−ド:集約カ−ド・第 1 媒体	(3) ^{次に読む媒体:集約カ・}	- *				
(4) 処理結果:	(5)照合+-:					
(6)) 媒体照会状況:						
	照合+-	必要読取枚数	第1媒体照合枚数	第2媒体照合枚数			
	(7) (8)TOP カメラ起動						

各項目の内容は次の通りです。

(1) ウェアラブル端末の接続状況を表示します。

	(2)現在の読取モード	•	• •	P12	5.シス	テム設定	(7)	読取モー	ドを選択で、	設定し	たモー	ド
				を表	示します	t						
	(3) 次に読む媒体	•	• •	次に	読取をす	る媒体を	を表示	します				
	(4)処理結果	•	• •	· 読取:	状況を表	「示します	F					
ht	(c) AP-REFINE Inc. All Rights R	Ser	ved									

読取 OK の場合: <OK>XX(媒体名) 照合キーを表示 読取 NG の場合: <ERROR>媒体情報の読み取りができませんでした

- (5)照合キー
 (6)媒体照会状況
 (7)TOP
 (8)カメラ起動
 (5)照合キーを表示します
 (7)TOP
 <l
- ④ 媒体を読み取ります。「(3)次に読む媒体」 に表示されている媒体を読み取りします。
 ※AP-0811には「ツギXX」 XXはシステム設定で入力した "略称"を表示します。
 重複読取の場合は、「ヨミトリズミ」と表示します。
- ⑤ 照合処理を中断したい場合
 集約カード・第1媒体・第2媒体モードの場合は、集約カードを再度読み取ることで処理を
 中断します。
 再開時には、もう一度集約カードを読み取ります。
- ⑥ 照合処理が完了した場合

1) 集約カード・第1媒体・第2媒体モードの場合は、処理結果に「照合完了モード1」と表示します。 ※AP-0811には「ショウゴウカンリョウ モード1」と表示します。

2) 集約カード・第1媒体モードの場合は、処理結果に「照合完了モード2」と表示します。 ※AP-0811には「ショウゴウカンリョウ モード2」と表示します。

3) 第1媒体・第2媒体モードの場合は、処理結果に「照合完了モード3」と表示します。 ※AP-0811には「ショウゴウカンリョウ モード3」と表示します。

⑦ エラーが出た場合

システム設定(P.12)で「エラー解除の使用」がオンになっている場合は、エラーの原因(媒体)を特定 し、正しい媒体を用意した後エラー解除媒体を読み取り、エラーを解除します。

※間違った媒体を読んでしまったので、読み取りをキャンセルにしたい場合は、同じ媒体を再度読み取ってください。同じ媒体を2回連続で読み取った場合は処理をキャンセルします。

⑧ 作業が終了したら、PC 及び読取装置の電源を OFF にしてください。

8. AP-0811/AP-0812 (ウェアラブル読取端末)表示一覧

※ツギxxの部分は集約カード・第1媒体・第2媒体・エラー解除媒体のいずれかの略称が入ります (モードで異なる)

※AA/BB/CC は略称設定(MAX2 桁)の値となります

AA:集約カード BB: 第1媒体 CC: 第2媒体 EE:エラー解除

処理内容	結果	メッセージ内容
		<0K>ツキ゛xx
		ショウコ゛ウカンリョウ
集約カードに登録されている媒体情報をすべて読み取った	OK	モート゛x
		<ok>ツキ゛xx</ok>
		AA/BB
集約カードと第1媒体の照合 OK (モード 2)	OK	0001 1/10
		<ng>ツキ゛xx</ng>
		AA/BB
集約カードと第1媒体の照合 NG (モード 2)	NG	0001
		<0K>ツキ゛xx
		BB/CC
第1媒体と第2媒体の照合(集約カードなし)	ОК	0001/0001
		<ng>ツキ゛xx</ng>
		BB/CC
第1媒体と第2媒体の照合(集約カードなし)	NG	0001/0002
		<ok>ツキ゛xx</ok>
		AA/BB/CC
第1媒体と第2媒体の照合(集約カードあり)	OK	0001/0001
		<ng>ツキ゛xx</ng>
		AA/BB/CC
第1媒体と第2媒体の照合(集約カードあり)	NG	0001/0002
		<エラー>ツキ゛xx
		ヨミトリス゛ミ
既に読み取った媒体を再度読み取った	NG	0001
		<エラー>ツキ゛ AA
指定媒体以外を読み取った	NG	ヨミトリカ・テ・キマセン
		<エラー>ツキ゛ AA
指定媒体処理中に異なる媒体が読み込まれた	NG	XX カート ジョリチュウ
		<ok>ツキ゛BB</ok>
 集約カード初回読み込み時(照合しないが読み込み OK)	_	XX ESE XX
(年約カー)ド中断代出	OK	$ \langle U \Lambda \rangle / T A A$
	UN	2974 7N TAYA 2
		NUC/ いっわっ、わチーウカ、ハ
 集約カード中断生敗	NC	✓ ヨリユ - リフ ユリグ ✓ ショル° ✓
	NG	277° 1

21

		<ok>ツキ゛AA</ok>
		ショウコ゛ウサイカイ
照合再開	-	モート゛x
		〈エラー〉
		AA カート゛トウロクスウ
登録上限オーバー	<u> </u>	ヲコエテイマス 0000
		<ng>ツキ゛xx</ng>
		カート゛ナイヨウカ゛オナ
受信データが同じ	<u> </u>	ジ゙デス″
		<ok>ツキ゛xx</ok>
エラー解除 OK	<u> </u>	エラーカイシ゛ョ
		<ng>ツキ゛E</ng>
		エラーカイショ
エラー解除 NG	<u> </u>	シッパイ
		<エラー>サイセツソ゛クシテク
再接続を促す	NG	タ゛サイ
起動時/モード切替時の初期表示	-	<セツゾ゛ク セイコウ>
システムエラー	NG	〈エラー〉システムエラー

9. キャンセル、エラー時の操作方法

●読み取り端末がつながらない

→以下を確認してください。

- ① 読取装置の電源がオンになっているか、バッテリーが充電されているか
- ② PC と Bluetooth 装置のペアリングができているか
- ③ ツールの「システム設定」/「Bluetoothデバイスの選択」で使用する装置が選択されているか
- ④ PC本体と離れすぎていないか ※Bluetoothの通信距離は、障害物がない場合で約10Mです
- ⑤ ①②③④を確認後、読み取り端末の電源を入れなおし、トップメニューに戻り「照合開始」をクリッ クします
- ●間違った媒体を読んだのでキャンセルする

→再度媒体を読み取りすることで、直前の読み取りをキャンセルします。

- ●AP-0811、AP-0812のディスプレイに表示された<エラー>を解除する
 →エラー解除媒体が設定されている場合は媒体を読み取ることで解除できます
 →間違った媒体を読み取った場合は、正しい媒体を読み取ることでエラーを解除します。
- ●PC 画面をタップしても反応しない
 - →充電状況を確認してください。バッテリーが減っていると動作が不安定になることがあります。 →PCを再起動してください。

照合実績収集ツール

操作説明書

2025年5月1日 発行

株式会社エイピーリファイン

〒472-0056 愛知県知立市宝 2 丁目 6-16 宝 BOX TG_250501